

平成17年度決算

秩父市の財務諸表
(バランスシート)

秩父市会計課
平成19年5月

目 次

バランスシートの公表に当たって 秩父市長 栗原 稔	1
I 平成 17 年度秩父市普通会計バランスシート	2
II 秩父市普通会計バランスシートのあらまし	3
III 平成 17 年度秩父市の連結バランスシート	4
IV 秩父市の連結バランスシートのあらまし	5
V 秩父市の各バランスシート総括表	5



バランスシートの公表に当たって

秩父市長 栗原 稔

秩父市は、平成17年4月1日、旧秩父市、旧吉田町、旧大滝村、旧荒川村の合併により新たに誕生しました。市では、「より開かれた市政」を基本理念とし、多くの情報を市民の皆様公表するとともに、市民の皆様との協働による市政経営に努めております。

このようなことから、秩父市の財政公表においても、これまで行ってきた財政公表（予算書や決算書をはじめ、当初予算や補正予算の概要、また半年ごとに行う収入支出の状況や財産、地方債、一時借入金等の状況等の公表）に加え、新たに、秩父市の財務諸表「バランスシート」を作成し、公表することといたしました。

「バランスシート」は、秩父市が所有する土地、建物や現金等の資産総額のほか、今後、支払わなければならない地方債の償還金などの債務や、今まで市民の皆様が負担をされた正味資産の金額を左右対照に表したものです。

このため、他市との比較ができるよう「普通会計のバランスシート」を作成したほか、企業会計や特別会計を含む14会計と出資法人（第三セクター）を含めた「連結バランスシート」を作成しました。

なお、作成に当たっては、総務省の作成マニュアルを基本としましたが、より現実性を高めるために、土地及び市場価格がわかる有価証券については、時価評価額としました。

市では、今後、「バランスシート」を継続的に作成するとともに、年ごとの比較などの分析を行い、市の財政運営について市民の皆様、よりわかりやすく説明していきたいと考えております。

I 平成17年度 秩父市普通会計バランスシート

(平成18年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	6,294,237	(1) 地方債	23,231,177
(2) 民生費	6,557,485	(2) 債務負担行為	
(3) 衛生費	8,340,940	① 物件の購入等	0
(4) 労働費	243,312	② 債務保証又は損失補償	0
(5) 農林水産業費	15,519,999	債務負担行為計	0
(6) 商工費	2,927,908	(3) 退職給与引当金	3,874,026
(7) 土木費	65,647,688	固定負債合計	27,105,203
(8) 消防費	670,044		
(9) 教育費	42,881,075	2. 流動負債	
(10) その他	7,273,923	(1) 翌年度償還予定額	2,279,286
計	156,356,611	(2) 翌年度退職給与金	118,998
(うち土地)	92,955,991	(3) 翌年度繰上充用金	0
		流動負債合計	2,398,284
有形固定資産合計	156,356,611	負債合計	29,503,487
2. 投資等			
(1) 投資及び出資金	3,663,190	[正味資産の部]	
(2) 貸付金	158,867	1. 国庫支出金	9,216,391
(3) 基金		2. 都道府県支出金	11,778,079
① 特定目的基金	6,383,883	3. 一般財源等	123,165,392
② 土地開発基金	949,454	正味資産合計	144,159,862
③ 定額運用基金	675,046	負債・正味資産合計	173,663,349
基金計	8,008,383		
(4) 退職手当組合積立金	470,897		
投資等合計	12,301,337		
3. 流動資産			
(1) 現金・預金			
① 財政調整基金	1,936,289		
② 減債基金	35,658		
③ 歳計現金	2,154,812		
現金・預金計	4,126,759		
(2) 未収金			
① 地方税	828,273		
② その他	50,369		
未収金計	878,642		
流動資産合計	5,005,401		
資産合計	173,663,349		

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入等に係るもの	0	千円(本表に計上したものを除く)
②債務保証及び損失補償に係るもの	0	千円(本表に計上したものを除く)
③利子補給等に係るもの	0	千円

※[負債の部]の1.固定負債「(1)地方債 23,231,177千円」及び2.流動負債「(1)翌年度償還予定額 2,279,286千円」の合計額 25,510,463千円中、地方交付税により手当てされる割合は約50.1%で、金額は12,777,995千円となります。

II 秩父市普通会計バランスシートのあらまし

1 バランスシートは、企業等の財政状況を明らかにするため、一定の時点においてその企業等が所有するすべての資産や負債等を総括的に表示した財務報告書です。左側を「借方」といい「資産」を記載します。一方、右側は「貸方」といい「負債」及び「資本」を記載しますが、地方公共団体のバランスシートでは、民間企業のバランスシートと異なり、「資本」を「正味資産」と表現しています。借方の「資産」では、土地、建物、現金等の市の資産（市民の財産）の金額を表示し、貸方の「負債」（将来の世代の負担）では、地方債の償還金、第三セクターへの損失補償額、退職給与引当金などの負債額を表示します。また、同じ貸方の「正味資産」は、今までの世代の方が負担された金額や国・県からの補助金を表示しますが借方の金額と貸方の金額とは必ず一致するため「資産」＝「負債」＋「正味資産」となります。

2 バランスシート作成上の前提条件

総務省が作成したマニュアルを基本とし、更に現実性を高めるために土地等を時価評価額により作成しました。

- (1) **対象とする会計**は、普通会計です。秩父市の普通会計は、一般会計から介護サービス事業費を除き、また、一般会計内でやり取りをした歳入歳出額を差し引き（純計）した会計となっています。
- (2) **作成基準日**は、平成18年3月31日です。なお、出納整理期間（平成18年4月1日～平成18年5月31日）の収入支出については、基準日までに終了したものとして処理をしました。
- (3) **基礎数値**は、原則として、昭和44年度以降の地方財政状況調査（決算統計）のデータを使用しました。なお、有形固定資産では、すべての保有土地の他、昭和43年度以前に建設した本庁舎や市民会館等を加え、投資及び出資金では、現存するものに限り計上しました。
- (4) **時価評価**の対象は、土地及び市場価格がわかる株式とし、特に、土地については、次の基準により評価しました。宅地比準土地は、平成18年7月1日現在の標準宅地鑑定価格の80%、山林比準土地は、相続税路線価の5/4（1.25倍）、市道・街路・森林管理道等は、旧4市町村ごとの平均鑑定価格の30%としました。
- (5) **固定・流動の区分**については、原則として一年基準を採用しました。

3 普通会計バランスシートのあらまし

[資 産 の 部]

- (1) **有形固定資産**は、土地、建物等長期間にわたり使用することができる資産で、土地を除く建物等は、定額法により残存価格が0円になるまで減価償却を行っています。主なものは次のとおりです。
総務費（本庁舎、市民会館）、民生費（ほのぼのマイタウン、ふれあいセンター）、衛生費（保健センター、聖地公園）、農林水産業費（吉田元気村、森林管理道）、商工費（みどりが丘地区センター）、土木費（市営住宅、道路、橋梁）、教育費（小中学校、体育館、公民館、文化体育センター）
- (2) **投資及び出資金**は、現存するものに限り計上しました。なお、時価評価した有価証券は、㈱りそなホールディングス及び秩父鉄道㈱の株券です。
- (3) **貸付金**の主なものは、地域総合整備資金貸付金、高額療養費資金貸付制度運営資金預託金、福祉資金運営資金預託金、水洗便所改造資金貸付金などです。
- (4) **基金**は、条例に基づいて設置された特定目的基金、土地開発基金、定額運用基金等で、14あります。
- (5) **退職手当組合積立金**は、埼玉県市町村総合事務組合の保有する資産のうち、秩父市の持分相当額を計上しました。
- (6) **未収金（地方税）**の主なものは、固定資産税、個人・法人市民税、都市計画税などです。
- (7) **未収金（その他）**の主なものは、住宅使用料、保育所・保育園保護者負担金などです。

[負 債 の 部]

- (1) **地方債**は、バランスシート作成基準日における地方債残高から、流動負債に計上した「翌年度償還予定額」を控除した額となっています。
- (2) **退職給与引当金**は、年度末に職員全員が普通退職したと想定した場合の要支給額で、流動負債に計上した「翌年度退職給与金」を控除した金額を計上しました。
- (3) **翌年度償還予定額**は、バランスシート作成基準日における地方債残高のうち、翌年度に予定されている元金償還額を計上しました。
- (4) **翌年度退職給与金**は、翌年度に普通退職をする職員に支給する退職給与引当金を計上しました。

[正 味 資 産 の 部]

- (1) **国庫支出金**は、有形固定資産に充当された国からの補助金等で、土地以外は、充当された有形固定資産と同じ耐用年数により減価償却を行っています。
- (2) **都道府県支出金**は、有形固定資産に充当された県からの補助金等で、土地以外は、充当された有形固定資産と同じ耐用年数により減価償却を行っています。
- (3) **一般財源**は、各種資産を形成するために、市民の皆様が負担された金額です。

Ⅲ 平成17年度 秩父市の連結バランスシート

(平成18年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方	貸 方
[資産の部]	[負債の部]
1. 有形固定資産	1. 固定負債
(1)総務費 <u>6,294,237</u>	(1)地方債 <u>35,765,261</u>
(2)民生費 <u>6,557,485</u>	(2)債務負担行為 <u>0</u>
(3)衛生費 <u>8,340,940</u>	(3)退職給与引当金 <u>5,321,827</u>
(4)労働費 <u>243,312</u>	(4)その他引当金 <u>2,738,952</u>
(5)農林水産業費 <u>15,519,999</u>	固定負債合計 <u>43,826,040</u>
(6)商工費 <u>2,927,908</u>	2. 流動負債
(7)土木費 <u>65,647,688</u>	(1)翌年度償還予定額 <u>3,257,380</u>
(8)消防費 <u>670,044</u>	(2)翌年度退職給与金 <u>138,831</u>
(9)教育費 <u>42,881,075</u>	(3)翌年度繰上充用金 <u>0</u>
(10)その他 <u>48,371,110</u>	(4)その他 <u>613,369</u>
計 <u>197,453,798</u>	流動負債合計 <u>4,009,580</u>
(うち土地 <u>97,864,579</u>)	負債合計 <u>47,835,620</u>
有形固定資産合計 <u>197,453,798</u>	
2. 投資等	[正味資産の部]
(1)投資及び出資金 <u>578,378</u>	1. 国庫支出金 <u>16,273,749</u>
(2)貸付金 <u>158,867</u>	2. 都道府県支出金 <u>13,510,503</u>
(3)基金 <u>8,335,654</u>	3. 一般財源等 <u>143,830,893</u>
(4)退職手当組合積立金 <u>643,975</u>	正味資産合計 <u>173,615,145</u>
(5)その他 <u>3,116,084</u>	負債・正味資産合計 <u>221,450,765</u>
投資等合計 <u>12,832,958</u>	
3. 流動資産	
(1)現金・預金 <u>9,007,190</u>	
(2)未収金 <u>2,060,630</u>	
(3)その他 <u>83,675</u>	
流動資産合計 <u>11,151,495</u>	
4. 繰延資産 <u>12,514</u>	
資産合計 <u>221,450,765</u>	

※債務負担行為に関する情報 ①物件の購入等に係るもの 0 千円(本表に計上したものを除く)
 ②債務保証及び損失補償に係るもの 0 千円(本表に計上したものを除く)
 ③利子補給等に係るもの 0 千円

※[負債の部]の1.固定負債「(1)地方債 35,765,261千円」及び2.流動負債「(1)翌年度償還予定額 3,257,380千円」の合計額 39,022,641千円中、地方交付税により手当てされる割合は約44.4%で、金額は17,344,991千円となります。

IV 秩父市の連結バランスシートのあらまし

1 秩父市の連結バランスシート

秩父市の財政状況をより透明性の高いものとするため、秩父市のすべての会計（普通会計、企業会計、特別会計）が保有する資産や負債の総額に、秩父市と連携協力して行政サービスの向上に取り組む第三セクター（秩父市の出資法人）を加えた「秩父市の連結バランスシート」を作成しました。

2 バランスシート作成上の前提条件

総務省のマニュアルに基づき作成しました。

なお、秩父市の連結バランスシート作成上の前提条件は次のとおりです。

(1) 連結の範囲

連結対象法人は、秩父市の出資比率が50%以上の第三セクターとしました。

◎連結対象法人（ ）内は出資比率を示します。

株式会社 龍勢の町よしだ（96%）、株式会社 源流郷おおたき（80%）
 有限会社 ちちぶ観光機構（71%）、有限会社 秩父浦山ダム振興センター（80%）
 財団法人 秩父市地域振興公社（100%）、社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団（100%）

(2) 基準日は、平成18年3月31日です。

(3) 会計間及び第三セクターとの調整（相殺）

会計間及び第三セクターとの調整（相殺）は、次のとおりです。

投資及び出資金（普通会計から水道会計・病院会計へ出資） ▲2,819,862千円
 投資及び出資金（普通会計から第三セクターへ出資） ▲264,950千円
 未収金（水道会計と普通会計間、水道会計と下水道会計間） ▲21,222千円

V 平成17年度 秩父市の各バランスシート総括表

※秩父市の人口 72,093人(外国人登録を含みます)平成18年3月31日現在

区 分	普通会計バランスシート		連結バランスシート	
	総 額	市民一人当たり	総 額	市民一人当たり
資産の部	千円	円	千円	円
有形固定資産	156,356,611	2,168,818	197,453,798	2,738,876
投資等	12,301,337	170,631	12,832,958	178,006
流動資産	5,005,401	69,430	11,151,495	154,682
繰延資産			12,514	173
資産 合計	173,663,349	2,408,879	221,450,765	3,071,737
負債の部				
固定負債	27,105,203 (15,466,638)	375,976 (214,537)	43,826,040 (27,927,064)	607,910 (387,376)
流動負債	2,398,284 (1,258,853)	33,266 (17,462)	4,009,580 (2,563,565)	55,616 (35,559)
負債 合計	29,503,487 (16,725,491)	409,242 (231,999)	47,835,620 (30,490,629)	663,526 (422,935)
正味資産の部				
正味資産 合計	144,159,862	1,999,637	173,615,145	2,408,211
負債・正味資産 合計	173,663,349	2,408,879	221,450,765	3,071,737

※()内の金額は、地方債(翌年度償還予定額を含む)の償還において、地方交付税により手当てされる金額を除いた秩父市の実質負担額を記載しました。

なお、地方交付税により手当てされる金額は、普通会計バランスシートでは地方債償還額の約50.1%、連結バランスシートでは地方債償還額の約44.4%です。

上の表から、普通会計では、市民一人当たり約241万円の資産を持っている一方、実質的な負債(借金)は約23万円、連結バランスシートでは、市民一人当たり約307万円の資産を持っている一方、実質的な負債(借金)は約42万円であり、保有資産のほうが負債を上回っていることがわかります。